



新

芽のお茶の表紙、懐かしい。

昔の茶摘みは一家総出。祖母の釜炒り茶の家中に拡がる芳香を思い出します。当時は市成村の奨励作物でした。故郷の市成を出発した58年前は農協の製茶担当でした。今も県産茶「ゆたかみどり」を愛飲して居ります。山王どんでも子ども手作りの六月灯、又曾我の傘焼きが村民総出で盛大に賑やかに行われていました。読み進むと昔の鹿屋市を想い出す記事が一杯です。感謝。(大分県在住の愛郷育生さん・83歳・男性)

市では、古くから日乾釜炒り茶の自家製が行われていましたが、明治18年鹿屋村中名に改良製茶伝習所が設置され、教師柿元辰五郎氏等によって製茶の伝習が行われたそうです。

現在、鹿屋市では「深蒸し茶」の産地として、「かのや茶ファンづくりに取り組んでいます。これからもおいしいかのや茶をご愛飲いただき、元氣にお暮らしてください。

い

つも楽しく読んでいます。私にはもうすぐ1才の娘がいます。鹿屋で子どもと過ごす場所、イベントがなく家に居る事が多いので…。その様な情報が常にあると嬉しいのです。よろしくお願ひ致します。

(A・Oさん・29歳・女性)

広報かのや5月号の特集で紹介させていただきましたが、リナシティかのやの「つどいの広場りな」は、子どもや親同士が、遊んだり語りあえる楽しい場になっていきますので、どうぞご利用ください。今後、多くの市民の皆さんの情報紙となるように努めていきます。

ボ

ケ防止になればと思ひ広報かのやを読んでいます。膝も痛く、病院に行く時以外は家から出る事はあまりありません。人にもあまりあいません。そんな中、2週間に1回届けてもらう広報かのやが楽しみの一つになっています。(85才かめばいさん・85歳・女性)

お便りありがとうございます。ボケ防止なんてとんでもないです。これからも市民の皆さんに愛される広報誌づくりを目指していきますので、いつまでもお元氣にお暮らしてください。

月

に2回プラスチックゴミの収集があります。出し忘れてしまおうと2週間置くことになり、とても不便です。一方、燃やせないゴミは少ないと思うので、燃やせないゴミの収集日を、月に1日プラスチックゴミの収集に変更できないでしょうか。(市民の声直行便より)

本市のごみ収集体制は、排出方法や収集回数等について、これまで様々な意見を取り入れながら、現在の収集体制が確立されています。本年度は、資源物の分別徹底を推進するため、不燃ゴミの中に含まれている資源物の調査を開始しております。不燃ゴミから資源物への分別徹底を市民の皆様へ周知するとともに、収集体制のあり方について鹿屋市衛生自治連絡協議会による町内会単位でのアンケート調査も実施する予定です。

今後、社会情勢や生活様式等の変化に伴う収集量の著しい変動が予想される場合、関係機関と協議しながら必要に応じて見直しを行ってまいります。

このほか、複数のおハガキをいただきました。今号で掲載できなかつたおハガキについては、ホームページで公開しています。

※キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.227

市民の皆さんからの お便りを募集

広報紙への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています！

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1
市広報広聴課
「市民のひろば」係

☎ 31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 広報広聴課
Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

ご希望のプレゼント

A ・ B